



歴史のまち三木を歩こう！

三木湯の山街道探訪コース

コース 恵比須駅～湯の山街道～三木城跡～金物資料館～みき歴史資料館～旧玉置家住宅～旧小河家別邸～三木駅（約3キロ・家族向）

歩行時間 約1時間15分

湯の山街道や三木城跡などがある「歴史のまち」、また「金物のまち」としても有名な三木を探訪するコースです。

コースガイド

①恵比須駅（スタート）

約7分

改札を出て北へ。前方の「神鉄恵比須駅前」信号を渡り、左手Y字路を右へ曲がる。少し先の四つ辻を左折すると湯の山街道。

②湯の山街道

約30分

古いまち並みが残る湯の山街道を約10分歩き、湯の山街道の道標がある四つ辻を左に曲がる。直進し「上の丸」信号を右へ曲がるとすぐナメラ商店街の入口。約1分歩くと左手に坂道があり、これを上ると左手に三木城跡があり、上りきると左手に金物資料館。

③金物資料館

約30分

金物資料館を右に曲がり、すぐ右に入るとみき歴史資料館。もとの道に戻り直進すると雲龍寺正門。ここを右に曲がり坂道を下り県道20号線に合流し、左に折れると旧玉置家住宅。次の「三木農協会館前」信号を左へ。次の四つ辻を右に曲がり大宮八幡宮の鳥居を過ぎると、少し先に旧小河家別邸。

④旧小河家別邸

約8分

大宮八幡宮の鳥居まで戻り、左折、右手の「本町」信号を直進し、福有橋を渡ると三木駅。

⑤三木駅（ゴール）



湯の山街道



秀吉が三木城攻めるとき、負傷兵に対して湯の山（有馬温泉）の湯を汲んできて、野風呂で療養させたとも伝えられている湯の山街道。江戸時代には中二階建ての切り妻造りの建物が連なり、現在でもその宿場町の面影が色濃く残されています。

三木城跡



三木城跡は三木上の丸駅からすぐの高台にあり、秀吉に敗れた別所長治公の辞世の歌碑や石像、三木合戦の様子を伝える絵看板などがあります。毎年5月5日には長治公を偲び「別所公春まつり」が開催されます。

金物資料館



1976年に開館した金物資料館は、三木市の産業である金物に関する貴重な資料や金物製品などを保存・展示しています。伝統的な手工業の製法や金物産業の移り変わりを学ぶことができます。